

地理教育に関するアンケート調査結果報告

対 象 者 : 北海道大学で開講されている授業「外国地誌（後期, 水 2）」の受講学生。

実施方法 : 上記受講者にプリントを配布し、記入後に回収した。

実施期間 : 2015 年 11 月 11 日

有効回答数 : 114 件

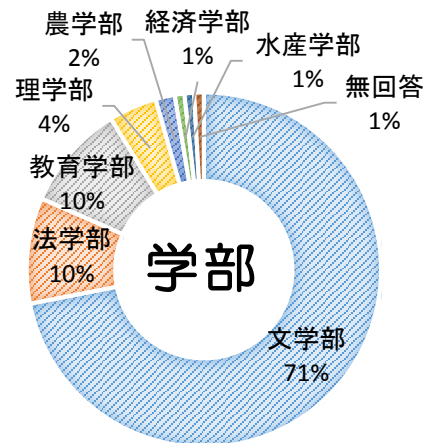
●回答者の属性

問：学部（記述式）

【回答の傾向】

「文学部」が 71% を占め、次に「法学部」・「教育学部」が 10% で続く。

学部	回答数
文学部	82
法学部	11
教育学部	11
理学部	5
農学部	2
経済学部	1
水産学部	1
無回答	1

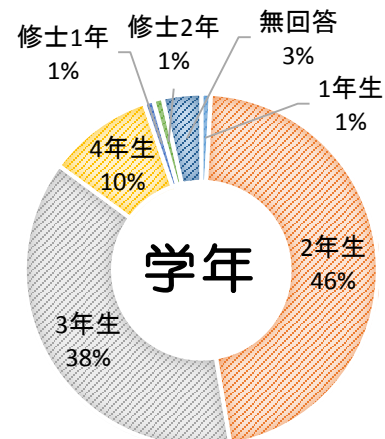


問：学年（記述式）

【回答の傾向】

「2 年生」が 46% で最も多く、次に「3 年生」が 38% で続く。

学年	回答数
1 年生	1
2 年生	53
3 年生	43
4 年生	11
修士 1 年	1
修士 2 年	1
無回答	4

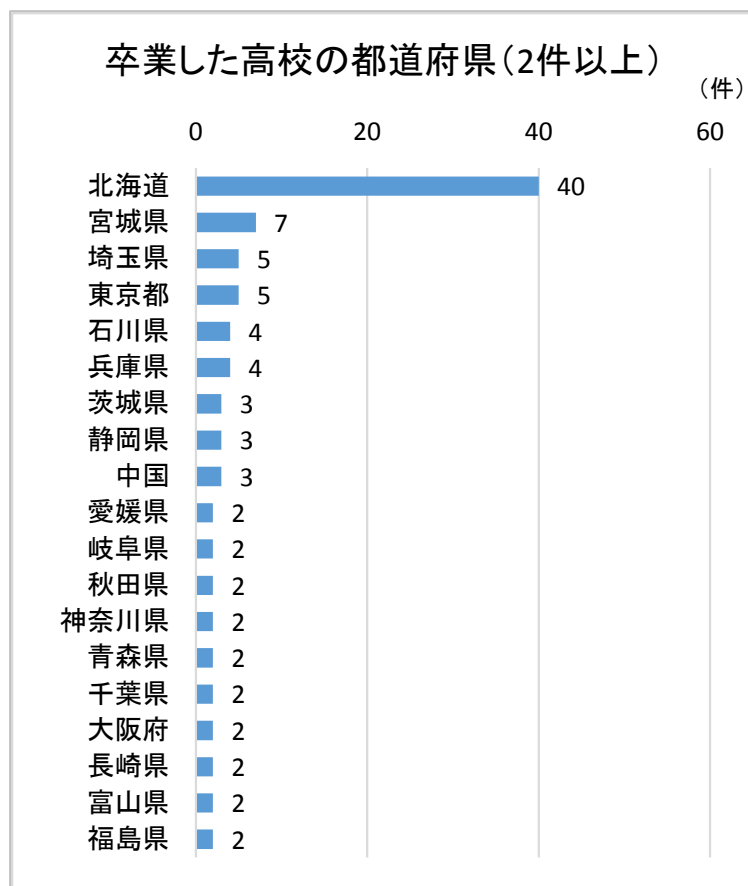


● 卒業した高校、及び高校での地理教育

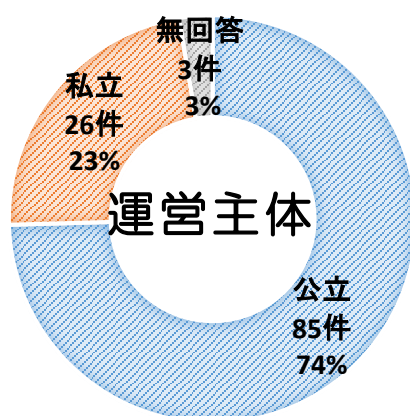
問1：都道府県（記述式）

【回答の傾向】

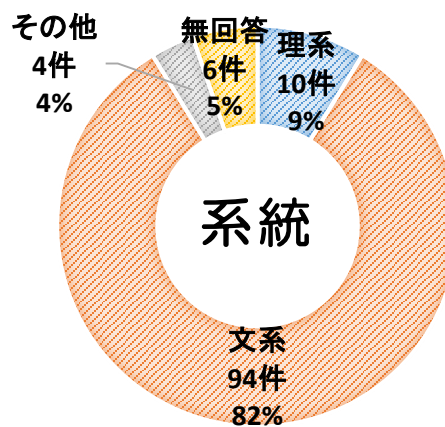
地元の「北海道」が40件と最も多く、次に「宮城県」が7件、「埼玉県」と「東京都」が5件と続く。



問2：運営主体（選択式）



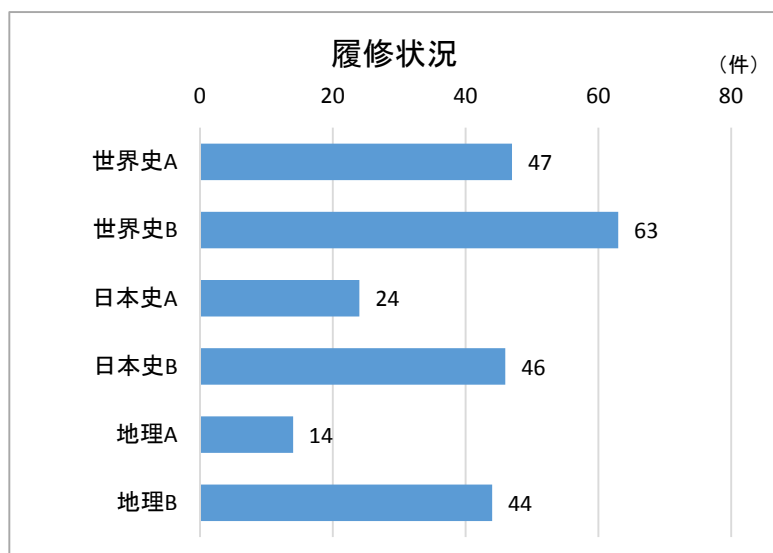
問3：系統（選択式）



問4：高校での地理歴史科の履修状況（選択式、複数回答可）

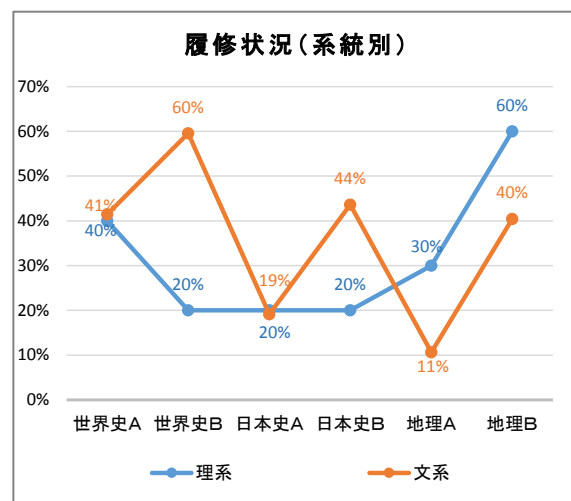
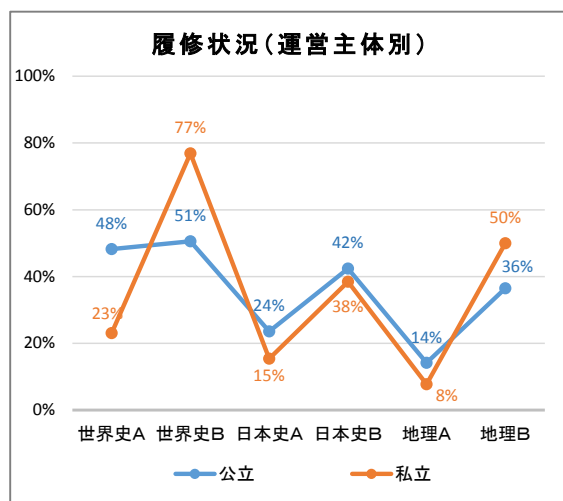
【回答の傾向】

「地理A」（14件）と「地理B」（44件）を合わせて58件となっており、「世界史」（110件）や「日本史」（70件）より低い傾向にある。



運営主体別（公立・私立）では、「私立」の学生の方が「地理B」を履修している割合が高い。

また、系統別（理系・文系）では、「理系」の学生の方が「地理A」・「地理B」を履修している割合が高い。

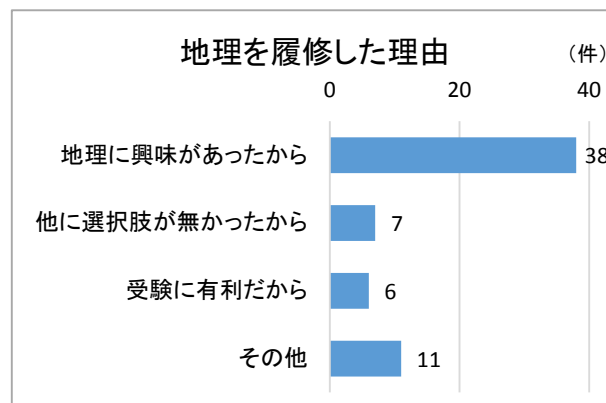


※複数回答のため、各科目の合計は100%になりません。

問5：（問4で「地理A」又は「地理B」を選択した人のみ）地理を履修した理由
（選択式、複数回答可）

【回答の傾向】

「地理に興味があったから」が38件と最も多く、次に「その他」が11件と続く。
「その他」の理由は、下記参照。



※その他の主な理由：

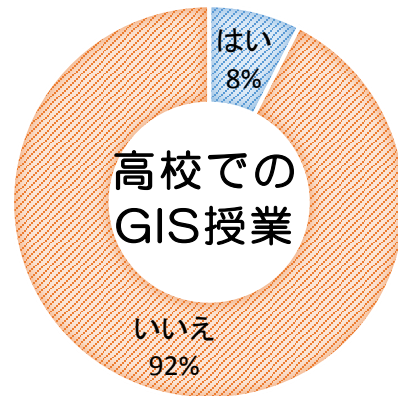
- ・ 学校で社会は全科目必修だったため。
- ・ 現社・地理・世界史については全て途中までやっています。必修だと思っていました。
- ・ 受験に必要だったから。
- ・ センターで地歴2科目必要だったため。
- ・ 日本史を受講したくなかったから。
- ・ 日本史、世界史が嫌だったから。
- ・ 必修だったから。
- ・ 歴史がやりたくなかったから。

問6：（問4で「地理A」又は「地理B」を選択した人のみ）高校の授業でGISを使った授業を受けましたか？（選択式）

【回答の傾向】

「いいえ」が92%と大半を占める。

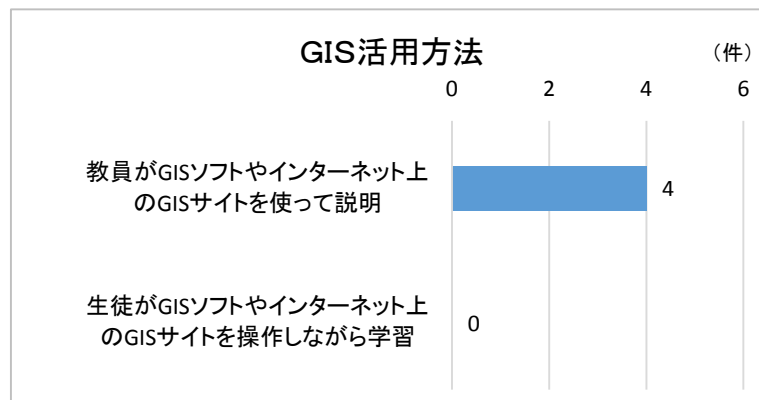
選択肢	回答数
はい	4
いいえ	49



問7：（問6で「GISを使った授業を受けた」を選択した人のみ）高校の授業でのGISの活用方法（選択式、複数回答可）

【回答の傾向】

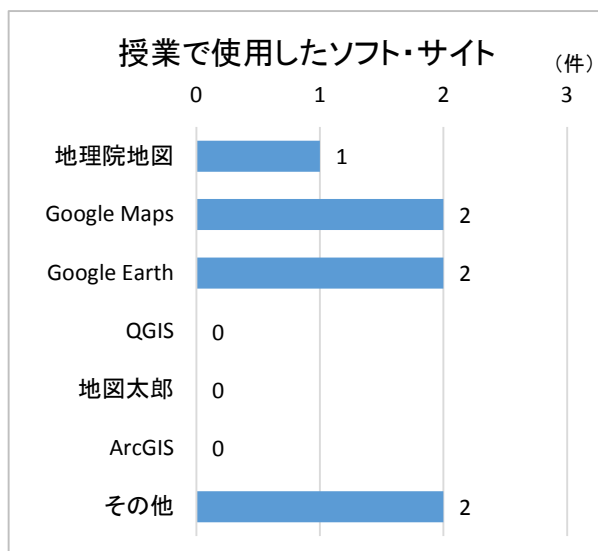
GISを使用した授業のうち、全てが「教員がGISソフトやインターネット上のGISサイトを使って説明」と回答している。



問 8：（問 6 で「GIS を使った授業を受けた」を選択した場合）授業で使った GIS ソフトやインターネット上の GIS サイト名（選択式、複数回答可）

【回答の傾向】

授業における使用実績は、「Google Maps」と「Google Earth」が 2 件、「地理院地図」が 1 件となっている。



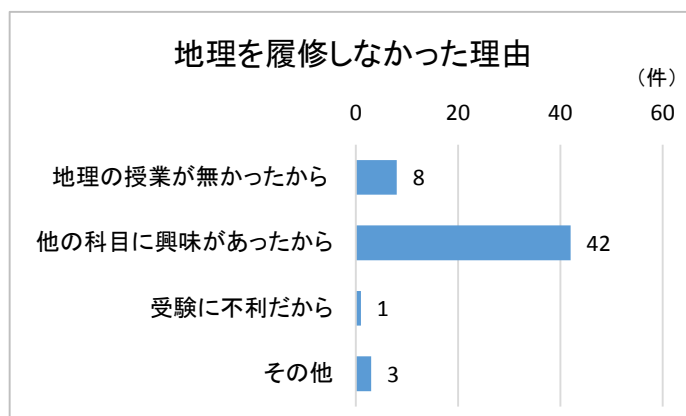
※その他の回答：

- ・カシミール
- ・わからない（不明）

問 9：（問 4 で「地理 A」も「地理 B」も選択しなかった場合）地理を履修しなかった理由（選択式、複数回答可）

【回答の傾向】

「他の科目に興味があったから」が 42 件と最も多く、次に「地理の授業が無かったから」が 8 件と続く。



※その他の回答：

- ・世界史 B で地理的知識を絡めた説明がなされるので。
- ・文系は地理の授業を取れなかったから。

● 地理教育の有効性

問 10：以下の観点で地理教育を行うことはどの程度有効だと思いますか
(5段階評価)

- a. 国際理解・グローバルな視点の醸成（例：北極海航路，南北問題）

有効 5 4 3 2 1 有効でない

- b. 地域の伝統・文化・自然・産業の理解，地域の課題の把握・問題解決
(例：石狩川治水の歴史，人口減少問題)

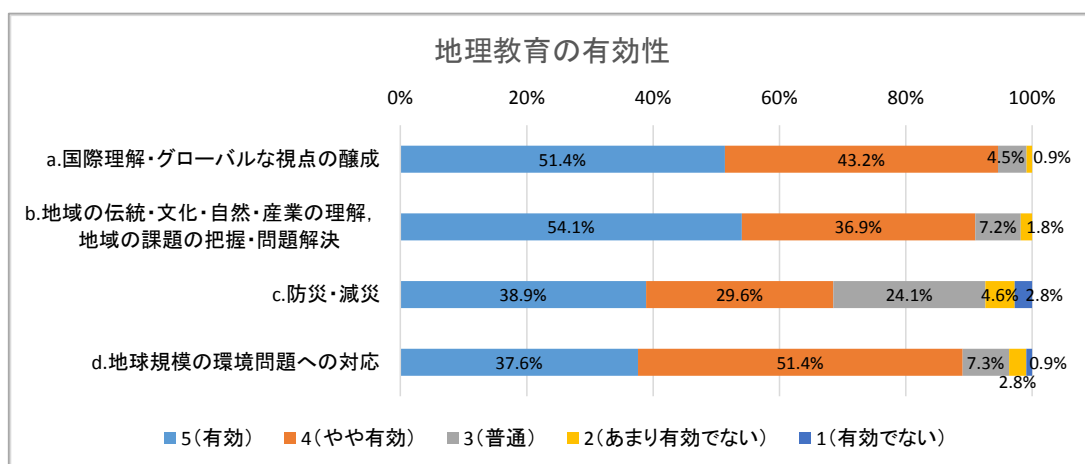
有効 5 4 3 2 1 有効でない

- c. 防災・減災（例：開発前の古い地形の理解，ハザードマップの周知）

有効 5 4 3 2 1 有効でない

- d. 地球規模の環境問題への対応（例：熱帯林の減少，黄砂）

有効 5 4 3 2 1 有効でない

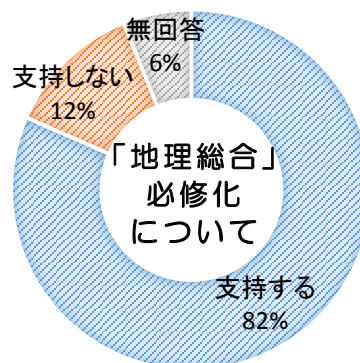


問 11：文部科学省が 8 月に公表した新学習指導要領の答申の素案では、高校の地理歴史科について、「地理総合」を新設し必須科目とすることとしています。支持しますか。（選択式）

【回答の傾向】

「支持する」が 82%で大多数を占める。

選択肢	回答数
支持する	93
支持しない	14
無回答	7



問 12：必修科目「地理総合」の新設に対し、問 11 の答えを選んだのはなぜですか？（記述）

◆「支持する」と回答した理由

【回答の傾向】

大きく分類すると、「一般教養としての必要性」、「他の科目や分野への理解に役立つ」、「より広い視点による学習」に分類できる。

○「一般教養としての必要性」に分類される主な回答

- ・ 地理の知識（地域概観、災害時非難）は一般教養として必要だと思うから。
- ・ 人として地理の知識が必要だと思うから。
- ・ 基礎知識は高校で全員習ったほうが良いと思うから。自分は結果的に地理を選択したが、それ以前に世界史・日本史を習ったことは知識の点でも教科選びの点でも役に立ったと思うから。
- ・ 必修とすることで全員が地理を学ぶことができるから。
- ・ 地理の必要最低限の知識がなく、私自身が不自由しているため。
- ・ 地理に限らず全ての科目の基礎を行うことが大切だと思うから。
- ・ 地理は社会に出る上で必要だと思うから。
- ・ 世界、国内事情を把握することは世界の動きを探るのに重要だから。それに地理は一般教養。知らないは正直よくない。
- ・ 地理的な見方や考え方を知っておいて損はないと思うので。
- ・ 地理を含め、社会科の勉強は学ぶべき内容だと思うから。
- ・ ある程度の地理の知識は必要だと思う。

- ・ 広く知識を取り入れることは将来何かの役に立つから。
- ・ 受験で必要である以前に、一般教養としてある程度の地理の知識は必要だと考えるから。
- ・ 教養がつくから。
- ・ やった方が知識の幅が広がるから。
- ・ 一般教養として必要であるから。
- ・ ある程度の地理の知識は何をするにしても必要だと思うから。
- ・ 高校の時点である程度地理の知識は身につけておいた方が良かった、と今思っている。
- ・ 生活する上で有用な知識が得られるため。
- ・ 高校地理程度の知識はあった方が良いと思う。
- ・ 地理で得た知識は海外へ行く際も役立つし、常識として知っておくべきだから。
- ・ ある程度教養として知っておくべきだと考えるから。しかし、受験で使わない限り、結局は記憶に残らないのではないかと思う。
- ・ 地理には日常生活で必要となる知識も多く含まれているから。
- ・ 現在私はあまり地理の知識がないから。
- ・ 一般教養として、ある程度必要だと思うから。
- ・ 幅広い教養の修得のため。
- ・ 高校地理の知識は常識とも言えるほど当然のものだから。
(他の受験勉強の負担にならない限りでは) 地理を一般教養、常識の範囲で身につけておけば、ビジネス・旅行・レジャー等で役に立つと思うから。

○「他の科目や分野への理解に役立つ」に分類される主な回答

- ・ 地球の現在を知る上でも大切になってくるから。
- ・ 地理の知識があれば、世界史などの理解がしやすくなるから。
- ・ 高校で地理を学んで、よく話題になっている環境問題の原因や何故そのようになったのかが理解でき、もしかかもしれないが問題改善について皆が理解できると思ったから。
- ・ 自分の身近な地域の環境問題について知ることは大切だと思うから。
- ・ 実践的な学問につなげやすいから。
- ・ 地理を必須にした方が歴史の知識も身につくから。
- ・ 世界の情勢について、ある程度の理解が進むから。
- ・ 地理を理解することが他科目を勉強する上でも役に立つから。
- ・ 先生がおっしゃるように、歴史と合わせた教育を行った方が良い学習効果が得られると思うから。
- ・ 地域に対する意識を持たせることは防災等、様々な面において有効であると考えするため。
- ・ 社会を理解するため。世界史と並んで主要だと考えるため。
- ・ 地理的な知識は現代世界に関する知識に直結するため。

- ・先生によっては歴史、地理を分断的に教える人がいるので、教科として作るべきなので。
- ・地理的素養は他の社会科目を学習する上で役立つと考えるから。
- ・世界の現状を知ることができる「地理」という科目を簡潔にでもいいからおさえておくと、今後の人生で役立つと思うから。
- ・地理だけでなく、世界史・日本史など広範に学べるのは良いと思います。
- ・本当は高校で日本史と地理を選択したかった。地理は世界の問題の理解や防災に役立つと思うから。
- ・私は軽くしか触れていない科目もあるが、高校でいわゆる社会の科目を全て勉強した。その中で、科目を越えて知識がつながる瞬間が本当に楽しかったから。
- ・歴史を学ぶ上で地理の状況は重要だと考えるため。
- ・バイトで社会科目を教える時、歴史や倫政のみの選択者は理解が遅く感じるから。
- ・地理の知識は実生活の中でも使えるから。

○「より広い視点による学習」に分類される主な回答

- ・地理は現代世界を知る上で必須科目だと思うから。
- ・現代世界（社会）を理解する上で「地理」は有効と考えるため。
- ・日本と世界を深く知ることは重要だと思うから。
- ・国際化の今、現代の世界について知ることはとても重要だから。
- ・歴史的な国々のつながりを知ること大切だが、現在の状況はどうかを知ることも大切だと思うから。
- ・地理と歴史でカバーできなかった部分の教育がなされそうだから。
- ・世界や自分達の住む地域の現状を理解することは重要だと思ったから。
- ・「世界の姿を理解する」ためには時間的視点による歴史科だけでは不十分であり、地理科を勉強することで空間的なものの見方を涵養することが大切だと考えるから。
- ・中学校地理のみの知識、理解では時間や深さに限りがある。
- ・グローバル化が進展し、世界の国々を知るとは良いことだから。
- ・国際視野を培うことができる。
- ・歴史や公民では体感できない外の世界への広がりや体感でき、世界で今何が起きているかの理解への一助となるから。
- ・(10) のような観点で地理を学習することは重要だと思うから。
- ・やはり世の中に出て役に立つのは世界史、地理、政経だと思うから。
- ・高校の段階でより広い知識をつけるべきと考えるため。
- ・地理知識を知って、世界がもっと理解できます。
- ・グローバル世界（社会）の今、世界の現状を理解することは大切なことだと思うから。
- ・現代社会の世界の課題を俯瞰できるから。
- ・複合的に物事や出来事を見て考える観点を得られるだろうから。

○「その他」に分類される主な回答

- ・ 高校生の時に地理を履修していれば良かったと思うから。
- ・ (私立ですが) 地理の教員になる予定なので、頑張りがいがあります。
- ・ 受験のためではない目的で地理を学ぶ人が増えて良いのではないかと思った。
- ・ 内容がよく吟味された上で支持する (知識のつめこみにならない)。大学で地理のおもしろさを知ったため、世界を知ることは必要だと思うから。
- ・ このような楽しい科目を必修にしないのはもったいないというのが率直な感想です。
- ・ 地理を学んでこなかったツケは、卒業後にまわってくると感じているから。地理が必要だから。
- ・ 高校時代、世界史で受験するために他の科目 (地理・日本史) の受講を諦めなくてはならなかったのが残念だったから。
- ・ 必修になったら良いと思うから。
- ・ 自分は高校3年間で一度も学ぶ機会がなかったが、あれば良かったと思うので必要。
- ・ 将来役立つ科目だと思うから。
- ・ 独学だと苦しいです。地理の知識はどこかで必要になるので、教えてもらった方が楽です。
- ・ 歴史をほとんど学んでこなかった分、現在困ることが多いから。
- ・ 偏らず様々な知識を身につけるべきだと思うから。

◆「支持しない」と回答した理由

- ・ 受験勉強が大変になるから。世界史 A とかもそうだが、基礎は省略されているところが多く分かりにくいし、頭に残らないので無駄なイメージ。
- ・ 必要ないとは思わないが、特別必要だとも思わないから。
- ・ カリキュラムの内容・実施方法等に検討課題があるため、現状支持を認められない。
- ・ わざわざ地理総合として独立した科目にする意味が分からないから。
- ・ 新科目をつくり必須科目とする必要性が分からないから。
- ・ 習い終わった後で、習ったか習ってないか分からないような中途半端なかたちになってしまいそうだから。
- ・ 地理歴史科の合わせたものなのに、「地理総合」として新設するのはどうかと思った。教員が地理総合を教えることができるのか不安。指導要領や受験制度などの変化に現場は対応しきれぬのか。
- ・ 全ての高校教員が地理と歴史を両方学ぶことの重要性について、生徒が納得できるように説明できるとは思えないから。
- ・ 必須としても多くの人は大学以降関わらなければ忘れてしまうから。
- ・ 総合することで深く学べないのではないか。
- ・ 高校でも地理・歴史・公民と分けるのではなく、社会科として学ぶ必要があると思

うから。

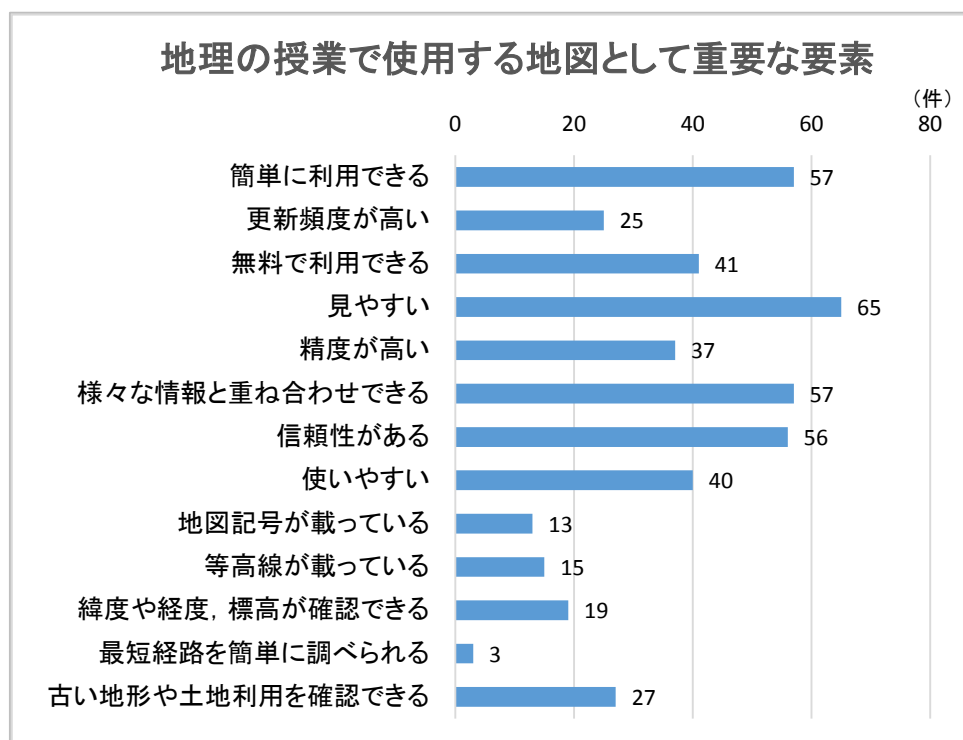
- ・「総合」にして必修とすることで内容が薄くなるのなら、あまり意味はない気がします。
- ・「地理総合」とは現在の「地理 A」の内容と聞いて、高校では「地理 A」はあまり意味のない内容であると教員に聞いたから。
- ・理由がよく分からない

● 地理の授業で必要とされる地図

問 13：地理の授業で使用する地図として特に重要な要素は何だと思いますか
(選択式、複数回答可)

【回答の傾向】

「見やすい」・「簡単に利用できる」など、利便性を求める回答が多い。

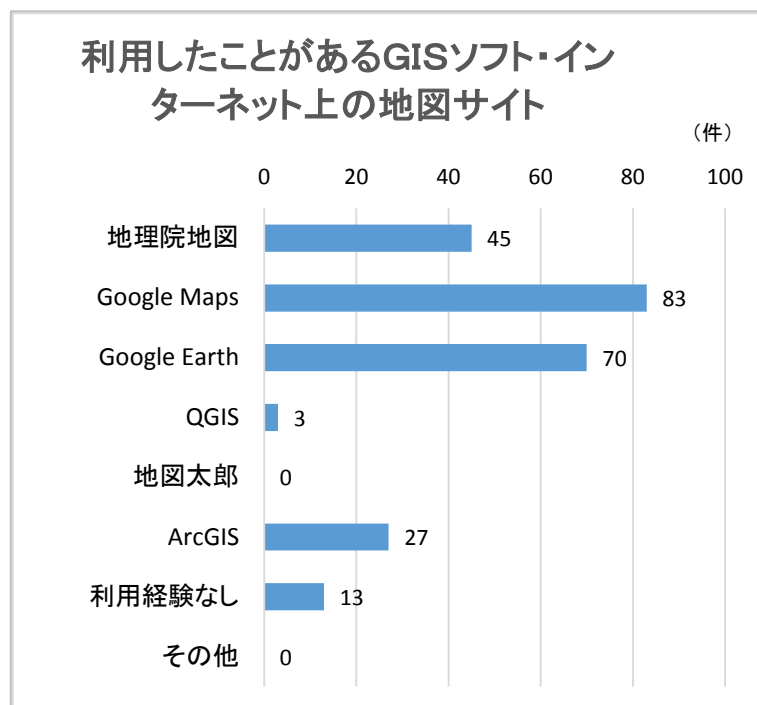


● 地理情報システム（GIS）の利用経験

問 14：利用したことのあるGISソフト・インターネット上のGISサイト
（選択式、複数回答可）

【回答の傾向】

「Google Maps」が 83 件と最も多く、次に「Google Earth」が 70 件、「地理院地図」が 45 件と続く。



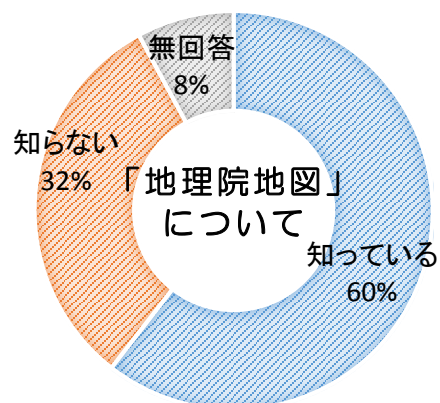
● 地理院地図の認知度

問 15：地理院地図を知っていますか（選択式）

【回答の傾向】

「知っている」が 60%で、「知らない」の 32%を上回っている。

選択肢	回答数
知っている	69
知らない	36
無回答	9

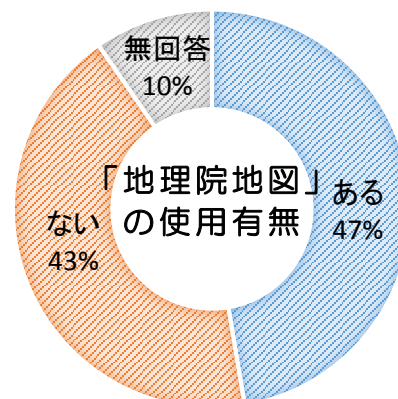


問 16：地理院地図を使ったことがありますか（選択式）

【回答の傾向】

「ある」が 47%、「ない」が 43%となっており、約半数が使用したことがある。

選択肢	回答数
ある	54
ない	49
無回答	11



● その他

問 17：地理教育や国土地理院へのご意見、ご要望等があればご記入ください。
（記述式）

○記入された主な意見・要望等は以下のとおり。

- ・生徒が地形図などを用いた主体的な学びができること。
- ・特に世界地図は情報が多すぎると感じるので、白地図＋国境＋山＋河川のような書き込みしやすくシンプルな地図があれば地形（地政）の把握がしやすいかなと思います。
- ・世界情勢を視野に入れた地理の授業だと良いと思います。政経など他分野と横断的な授業だと良いと思います。
- ・歴史的出来事が遺跡と密接にリンクした地図帳が欲しいです。国旗もきちんと載せてもらいたいです。
- ・便利な地理院地図の周知をすべき。
- ・地理院地図はまだ知名度が低いと思われるので、アプリ版を出すの良いと考える。
- ・河川、山、湖沼、地名、都市名というものが教養として人生のうちに残るものだという事を感じた。行動範囲が広がるなら、全世界の事を知っておいても良いと思う。
- ・地理教育を受けたのは中学までだったが、教科書をなぞるような授業でひたすら暗記という感じで、あまり興味が持てなかった。指導要領を変えるのも必要だが、教員の教え方を工夫することで、もっと地理が面白く感じられるのではと思う。
- ・ほとんどの人がスマホで GPS を望んでいる。見やすく分かりやすい地図が大切。
- ・単純に地理的な知識を教えるだけではなく、文化的・経済的な内容と一緒に考える。

- ・様々な災害に対して、強いかどうかということを知ることが地理にとって一番大切（実用的）だと思うので勉強すべきだと思う。
- ・他教科、他の社会科目（歴・公民）との関連性を重視した方がいい。
- ・高校の授業で政治的なものを含まないでほしい。

● まとめ

【高校での地理の履修状況】

高校での地理歴史科の履修状況は、必須科目である世界史（110件）が最も多い。選択科目の中では、地理（58件）より日本史（70件）の方が多く選択される傾向にある。地理を履修しなかった理由としては、「他の科目への興味」が大勢を占めるが、「地理の授業が無い、取れない」という理由も一部見られた。

【高校での GIS 教育】

高校での地理履修者の中で、GIS を使った授業を受けたのはわずか4件（8%）である。その内、生徒が GIS を操作する事例は皆無で、すべて教員が説明するパターンであった。学習指導要領で GIS に関する記述が増えてきており、現場の授業への GIS の取り入れが今後の課題である。

【地理教育の有効性】

いずれの観点からも地理教育の有効性が評価されている。ただし、防災面での地理教育が果たす役割の評価が相対的に低い。

高校の地理歴史科で「地理総合」を新設し必須科目とすることについても、全体の82%が「支持する」と回答しており、地理教育の必要性を感じている学生が多い。「支持しない」と回答した理由の中では、教員の指導力への不安を上げる意見が複数件見られた。

【地理授業で使用する地図・地理院地図について】

地理の授業で使用する地図の要素として上位にあがった「様々な情報と重ね合わせできる」、「簡単に利用できる」、「無料で利用できる」は、インターネット上の GIS サイトが紙の地形図より秀でている点である。また、「信頼性がある」、「精度が高い」は精度が担保された基本測量・公共測量の成果が有する点である。これらの要素を兼ね備えた地理院地図は最も地理の授業で望まれる地図と言える。地理院地図は標準地図や淡色地図、白地図など表現のバリエーションを増やす等の改良を重ねているが、「見やすい」が最も上位にあがっている点を今後も意識していく必要がある。

地理院地図については60%が「知っている」と回答しているが、「利用経験がある」は47%にとどまっており、より一層の普及・啓発活動が必要と思われる。